

世界の栄養不足人口 —ハンガーマップ 2014

Prevalence of Undernourishment in Developing Countries



2012 - 14年現在、世界では約8億500万人が慢性的な栄養不足に苦しんでいると推定されています。この数は、1990 - 92年と比較すると2億900万人以上減少しており、割合で見ると世界では18.7%から11.3%へ、開発途上国では23.4%から13.5%へと減少しています。また、この間に63カ国が、2015年までに途上国の栄養不足人口の割合を半減させるとしたミレ

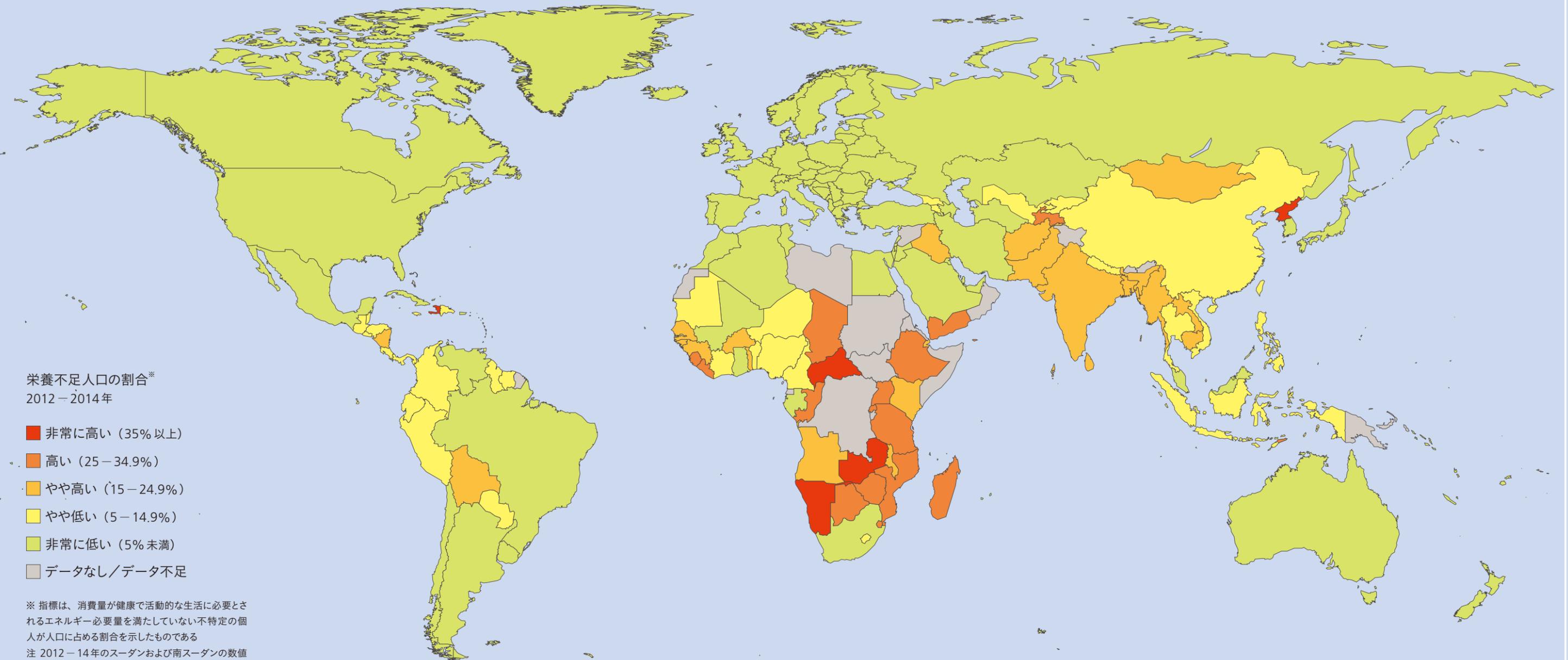
ニアム開発目標ターゲット1c(MDG1c)を達成し、MDG目標が手の届くところまでできていることを示しています。

一方で、地域間には依然として著しい格差が残っています。ラテンアメリカ・カリブ海地域は最も大きな進展を見せていますが、サハラ以南アフリカや西アジアでは、自然災害や紛争の悪影響により、進展が芳しくありません。

FAOは、飢餓の削減には食料安全

保障と栄養を最優先に据えた最大級の持続的な政治的コミットメントとともに、農業生産性を高めるための投資や、農業投入材および土地等に対するアクセスの向上、農村開発を促進する措置、弱者層に対する社会的保護、特定の栄養プログラムを組み込んだ統合的アプローチの必要性を訴えています。

関連ウェブサイト
FAO Hunger : www.fao.org/hunger



栄養不足人口の割合*
2012 - 2014年

- 非常に高い (35%以上)
- 高い (25 - 34.9%)
- やや高い (15 - 24.9%)
- やや低い (5 - 14.9%)
- 非常に低い (5%未満)
- データなし/データ不足

※ 指標は、消費量が健康で活動的な生活に必要とされるエネルギー必要量を満たしていない不特定の個人が人口に占める割合を示したものである
注 2012 - 14年のスーダンおよび南スーダンの数値は信憑性が低いと示していない